

RHEL/CentOS/Oracle Linux 7.8でのCisco Secure Endpoint Linux Connectorの互換性

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[コネクタバージョン](#)

[オペレーティング システム](#)

[カーネルバージョン](#)

[非互換性](#)

[条件](#)

[症状](#)

[解決方法](#)

[コネクタのアップグレード](#)

[その他のリソース](#)

[Linux OSの互換性](#)

[Linuxのリポート要件](#)

[Linuxユーザガイド](#)

概要

Cisco Secure Endpoint Linuxコネクタバージョン1.12.4以前は、Red Hat Enterprise Linux、CentOS、およびOracle Linux 7.8と互換性がありません。このオペレーティングシステムバージョンでは、コネクタは正常に動作していると報告されますが、ファイル名の変更とネットワークアクセス監視イベントは検出されません。Red Hat Enterprise Linux、CentOS、およびOracle Linux Red Hat Compatible Kernel(RHCK)7.8との完全な互換性のために、コネクタバージョン1.12.5以降にアップグレードしてください。

前提条件

コネクタバージョン

- コネクタバージョン1.12.5以降での公式サポート。

オペレーティング システム

- RHEL/CentOS/OL 7.8: Oracle Linuxは、コネクタバージョン1.12.5以降のRHCKでサポートされています。

注：Oracle Unbreakable Enterprise Kernel(UEK)は、コネクタバージョン1.18.0以降でサポートされています。詳細については、[Cisco Secure Endpoint Linux Connector OSの互換性に関する記事](#)を参照してください。

カーネルバージョン

- 3.10.0-1127.el7.x86_64以降

非互換性

条件

- コネクタバージョン1.12.4以前
- `commandname` - コマンドを実行しているターミナルウィンドウから、3.10.0-1127.el7.x86_64以降のカーネルバージョンを返します。

症状

- [Cisco Secure Endpoint Console](#)から、ファイル名の変更とネットワークイベントがコネクタで検出されず、デバイストラジェクトリに表示されない場合があります。
- `sudo cat /var/log/messages | grep "kernel:ampnetworkflow:<info> _msg_send_offset:peer disconnected"`は、コネクタによって使用されるampnetworkflowカーネルモジュールの障害を示す複数の結果を返します。

解決方法

コネクタのアップグレード

- コネクタバージョン1.12.5以降にアップグレードすると、RHEL/CentOS/OL 7.8の非互換性の問題が緩和されます。

その他のリソース

Linux OSの互換性

[Cisco Secure Endpoint Linux Connector OSの互換性](#)

Linuxのリポート要件

[Cisco Secure Endpoint Linux Connectorアップデートのリポート要件](#)

Linuxユーザガイド

[Cisco Secure Endpoint Linux Connectorユーザガイド](#)